

## メキシコ政治情勢（2024年10月）

### 〔概要〕

### 【内政】

- 1日、シェインバウム大統領の大統領就任式及び関連公式行事が行われた。
- 1日付当地エル・フィナンシエロ紙は、大統領支持率等に係る世論調査結果を発表した。同日に就任したシェインバウム大統領の支持率は67%。
- 3日、シェインバウム大統領は、女性支援及び保護のための憲法及び法改正パッケージを議会に提出した。
- 8日、シェインバウム大統領は、定例早朝記者会見において、国家治安戦略を発表した。
- 8日、連邦下院は、5日にマルティネス下院議長が死去したことに伴い、後任の議長にグティエレス副議長（MORENA）を任命した。
- 13日、シェインバウム大統領は、ケタロ州を訪問し、メキシコ市とケタロ州間の鉄道建設のための調査を開始する旨述べた。
- 22日、シェインバウム大統領は、ガルシア・グアナファト州知事と会談し、グアナファト州の治安安定を実現するための共同戦略を実施することで合意した。
- 30日、連邦下院は、憲法改正に対する異議申し立てを制限する憲法改正案を可決した。
- 30日、最高裁判所は、同裁判所判事8人が連邦上院に辞表を提出し、任期満了次第辞任すること及び2025年6月に予定されている裁判官選挙への立候補を辞退することを決定した旨発表した。

### 【外交】

- 9日、連邦上院はデ・ラ・フエンテ外相の就任を承認した。それに先立ち、10月3日以降、次官を含む外務省の人事が順次発表された。また、3日の発表に併せて、同外相は外交方針につき発言した。
- 16日、2019年に麻薬密輸の共謀罪他の容疑で米国当局に拘束・起訴され、客年に有罪評決を受けていたガルシア・ルナ元公共治安大臣に対し量刑が言い渡された。
- 24日、デ・ラ・フエンテ外相は、講演において、北米において、すべての人々、特に社会から疎外されたコミュニティや地域に機会を促進しつつ、包括的で持続可能、且つ共有可能な成長を促進することが不可欠であると述べた。
- 26日、ラ米カリブ宇宙機関（ALCE）の設立協定に関する公布令が連邦官報に掲載された。
- 31日、シェインバウム大統領は、早朝定例記者会見において、G20サミットに参加することを表明した。

[本文]

【内政】

1 シェインバウム大統領の就任

1日、シェインバウム大統領の大統領就任式及び関連公式行事が行われた。日本からは中曽根弘文参議院議員が特派大使として大統領就任式及び大統領主催午餐会に出席した。

(1) 連邦下院議会における大統領就任式

連邦下院議会において、9時からセッションが開始され、上院及び下院議員らが大統領就任を踏まえた各政党の立場表明演説を行った。11時から11時30分頃にかけて、ロペス・オブラドール氏、シェインバウム氏がそれぞれ下院に到着し、11時30分から大統領就任式が開始された。11時34分、シェインバウム氏は議会で宣誓を行った。ロペス・オブラドール氏は大統領綬を、マルティネス下院議長の仲介により、シェインバウム氏に手渡した。11時35分、シェインバウム大統領は50分間にわたり大統領就任演説を行った(演説要旨は以下(2)のとおり)。同式典には、新閣僚、連邦上下両院議員、州知事、各国代表者、各国駐墨大使等が出席した。

(2) 大統領就任演説要旨

ア ロペス・オブラドール前大統領の政策を評価し感謝する。前大統領が実施した「第四次変革」を、「全ての人のために、まずは貧困層から」、「貧しい国民のもとに豊かな政府は存在しない」、「統治する者は誠実であるべき」等のヒューマンイズムの原則に従って継続する。

イ 外交：民族自決、不介入、紛争の平和的解決という憲法の原則に従う。

ウ 経済：メキシコ中銀の中立性を尊重、責任ある財政政策、投資促進、USMCAを活用し福祉と環境に配慮した地域開発を推進、ラ米及び他地域との結びつきを強化、最低賃金引き上げ、納税分野におけるデジタル化を実施。国内及び外国からの投資は守られる点を強調。

エ 司法改革：法の支配を実現する。司法改革にかかる憲法改正により、司法の自立性及び独立性は高まる。司法の腐敗に終止符を打つ。

オ 福祉事業：従来の福祉事業は継続し、新たな福祉事業である60～64歳の女性に対する支援、幼稚園、小中学校の児童生徒への奨学金、高齢者への在宅医療支援を実施する。

カ インフラ・エネルギー：鉄道網、道路を整備、強化。発電の官民比率は54%対46%を維持。「国家エネルギー計画」には送電、発電への新たな投資及び再生可能エネルギーへの転換のプログラムが含まれる。石油会社の石油生産の目的は、引き続き国内消費に限り、生産量は日量180万バレルに制限。

キ 農業・食糧：食糧主権と食糧自給率向上を促進。遺伝子組み換えトウモロコシの作付けは許可しない。

ク 環境・水：リサイクル経済事業施設を建設。水利権の譲渡の制度かを実施。

ケ 科学技術：メキシコを科学技術大国にする。

コ 治安：重大犯罪の減少を保障。原因への対処、インテリジェンス及び捜査、国家警備隊の強化、連邦政府と自治体、州、検察都の連携の4つを軸とする戦略を遂行する。

サ 結語：女性大統領として、全ての人のために政治を行い、自分の知識、力、歴史、人生そのものを国民と祖国のために捧げる。

### (3) シェインバウム大統領主催午餐会

14時45分より、国立宮殿において、シェインバウム大統領の午餐会が開催された。午餐会には招待された各国代表者に加え、新閣僚等がホストとして出席した。

### (4) 憲法広場における大統領就任イベント

16時頃、シェインバウム大統領は、憲法広場（ソカロ）において開催された大統領就任を祝うイベントに参加した。メキシコ市公共治安局の発表によると、同イベントには約40万人が参加した。憲法広場に設置されたステージに登壇したシェインバウム大統領は、先住民及びアフリカ系メキシコ人代表から、「浄化の儀式」を受けた後、「指導者の杖」（Bastón de mando）を受け取った。その後、シェインバウム大統領は、1時間8分にわたり国民に向けた演説を行った。演説において、同大統領は、メキシコのヒューマニズムと第四次変革の原則のもと政権運営する旨述べ、「100の政府公約」（政治権力と経済権力を分ける政策、自由の保障、司法改革のフォローアップ、アヨツィナパ事件のフォローアップ、選挙制度改革、緊縮財政の継続、福祉政策の継続等）を発表した。

## 2 大統領支持率に係る世論調査結果

1日付当地エル・フィナンシエロ紙は、大統領支持率等に係る世論調査結果を発表した。同日に就任したシェインバウム大統領の支持率は67%。同世論調査の概要以下のとおり。

### (1) シェインバウム大統領の今後の取組を支持するか。

ア 支持する：67%（ロペス・オブラドール前大統領就任時（以下同じ）、66%）

イ 支持しない：27%（同18%）

ウ 分からない：6%（同16%）

### (2) シェインバウム政権における各分野の状況の見通し如何。

#### ア 経済

(ア) 改善する：65%（同70%）

(イ) 悪化する：13%（同13%）

(ウ) 変わらない：20%（同10%）

(エ) 分からない：2%（同7%）

#### イ 貧困

(ア) 改善する：62%（同70%）

(イ) 悪化する：14%（同12%）

(ウ) 変わらない：22% (同13%)

(エ) 分からない：2% (同5%)

#### ウ 人権

(ア) 改善する：60% (同69%)

(イ) 悪化する：15% (同10%)

(ウ) 変わらない：21% (同12%)

(エ) 分からない：4% (同9%)

#### エ 公正さ

(ア) 改善する：60% (同66%)

(イ) 悪化する：17% (同12%)

(ウ) 変わらない：19% (同14%)

(エ) 分からない：4% (同8%)

#### オ 民主主義

(ア) 改善する：58% (同66%)

(イ) 悪化する：15% (同12%)

(ウ) 変わらない：22% (同13%)

(エ) 分からない：5% (同9%)

#### カ 治安

(ア) 改善する：57% (同67%)

(イ) 悪化する：19% (同14%)

(ウ) 変わらない：22% (同12%)

(エ) 分からない：2% (同7%)

#### キ 汚職

(ア) 改善する：55% (同63%)

(イ) 悪化する：21% (同14%)

(ウ) 変わらない：21% (同17%)

(エ) 分からない：3% (同6%)

(3) シェインバウム政権の重要課題は何か。

ア 治安対策：36% (同23%)

イ 雇用及び経済機会の創出：30% (同32%)

ウ 汚職対策：17% (同20%)

エ 貧困削減：11% (同24%)

(4) シェインバウム大統領は、「ロ」前大統領と比較しどのような政権運営を行うか。

ア より良い：60%

イ 変わらない：28%

ウ より悪い：7%

エ 分からない：5%

(5) 国内の主要な問題は何と考えるか。

ア 治安悪化：63%（前回（8月、以下同じ）58%）

イ 経済及び失業：15%（前回17%）

ウ 汚職：6%（前回4%）

### 3 シェインバウム大統領の憲法改正案発表

3日、シェインバウム大統領は、女性支援及び保護のための憲法及び法改正パッケージを議会に提出した。同パッケージにおいて、法の下での男女平等の促進、治安機関におけるジェンダーの観点に応じた調整、女性の暴力のない生活を送る権利の保障、ジェンダーに基づく犯罪を捜査する検察捜査機関の設置、男女の賃金格差の是正に関する憲法及び二次法の改正案が提案された（11月に連邦及び州議会で可決された）。

### 4 国家治安戦略の発表

8日、シェインバウム大統領は、定例早朝記者会見において、国家治安戦略を発表した。発表の中で、カルデロン元大統領が行った麻薬戦争は繰り返されないとし、犯罪予防、原因究明、情報活動、及び（政府の）プレゼンスを重視すると述べた。ガルシア・ハルフシュ治安・市民保護大臣は、戦略の4つの軸のひとつとして、組織犯罪に立ち向かうために捜査及び情報入手を強化すると述べた。また、犯罪発生率の高い地域（グアナファト、バハ・カリフォルニア、チワワ、ハリスコ、ゲレロ、シナロア各州）においても、影響力の大きい犯罪の対策として介入戦略が策定されている旨述べた。加えて、各州との連携強化の一環として、ロドリゲス内務大臣は、最も暴力がはびこり、若年層の麻薬使用率が高いグアナファト州政府との連携を支援し、今後、保健省の支援により、若者が犯罪組織に加わるのを防ぐための社会政策が立案されると述べた。

### 5 連邦下院議長の交代

8日、連邦下院は、5日にマルティネス下院議長が死去したことに伴い、後任の議長にグティエレス副議長（MORENA）を任命した。また、パディエルナ連邦下院議員（MORENA）が第一副議長に、モンタルボ連邦下院議員（PT）がバスケス議員に代わり理事に任命された。

### 6 メキシコ市－ケレタロ州間鉄道の調査開始

13日、シェインバウム大統領は、ケレタロ州を訪問し、メキシコ市とケレタロ州間の鉄道建設のための調査を開始し、2025年4月から36か月間の工期で建設を開始する旨述べた。建設は国防省が管轄する。本事業では、既に運行されている貨物列車と平行して2本の線路が敷設される。エステバ・インフラ運輸通信大臣は、同2都市の間にサン・

フアン・デル・リオ市の駅を経由して結ぶこと、3万人が恩恵を受け、49万件の直接及び間接雇用を創出し、時速160kmで同都市間を1時間40分で結ぶこと等に言及した。

#### 7 シェインバウム大統領とグアナファト州知事との会談

22日、シェインバウム大統領は、ガルシア・グアナファト州知事と会談し、グアナファト州の治安安定を実現するための共同戦略を実施することで合意した。同州知事は、グアナファト州における治安戦略について発表し、州の治安部隊、陸軍、国家警備隊が同州10の地域で共働しており、州政府及び連邦の治安部隊との連携は既に実施されている旨述べた。ガルシア州知事は、州政府及び連邦政府との本対話は同州の治安にとって画期的であると述べるとともに、シェインバウム大統領を同州に招待したと述べた。

#### 8 連邦下院における憲法改正への異議申し立てを制限する憲法改正の成立

30日、連邦下院は、憲法改正に対する異議申し立てを制限する憲法改正案を可決した。同憲法改正案は、23日、ロペス連邦上院議員（上院政策調整委員長）が連邦上院に提出し、25日に上院本会議で可決されたもの。本改正案は、メキシコ市議会及び各州議会で審議が行われ、全州の半数以上において可決され成立した。同改正案のポイントは以下のとおり。

- ・第105条に「憲法への（条項等の）追加及び改正への異議申し立て及びそれを目的とした違憲訴訟は許されない」という第5項を追加。
- ・第107条第2節第1項を改正し、「憲法への（条項等の）追加及び改正に対して権利保護請求手続きを進めてはならない」という文言を追加。
- ・権利保護請求手続き（アンパロ）で下される裁定は、それを要求した申立人のみに適用され、その目的は申立人を保護することに限定される。一般法の違憲性を解決する権利保護請求手続において、いかなる場合にも、下された判決は一般的効力を持たない。権利保護請求手続きは、憲法への（条項等の）追加や改正に対して進められるものではない。

#### 9 裁判官の辞表提出及び裁判官選挙不参加表明

30日、最高裁判所は、司法改革にかかる憲法改正に基づき、同裁判所の判事8人が連邦上院に辞表を提出し、任期満了次第（1名は2024年11月30日、残り7名は2025年8月31日付）判事辞任すること及び2025年6月に予定されている裁判官選挙への立候補を辞退することを決定した旨発表した。本決定を通知した判事は、ピニャ長官、アギラル判事（2024年11月30日に任期修了）、バルド判事、グティエレス判事、ペレス・ダヤン判事、レイネス判事、ゴンサレス・アルカンタラ判事、リオス判事。また、同日、フェルナンデス・ノローニャ上院議長は、859人の地方・高等裁判所判事が2025年6月に実施される裁判官選挙への参加を辞退した旨述べた。

## 【外交】

### 1 墨外務省人事及び外交方針の発表

9日、連邦上院はデ・ラ・フエンテ外相の就任を承認した。それに先立ち、10月3日以降、次官を含む外務省の人事が順次発表されたところ次官級人事は概要以下（1）のとおり。また、3日の発表の際、「デ」外相は外交方針につき発言したところ、概要以下（2）のとおり。

#### （1）次官級人事

- ・筆頭外務次官：マリア・テレサ・メルカド・ペレス（Maria Teresa MERCADO PEREZ）前外務筆頭次官（留任）
- ・ラ米カリブ担当次官：ラケル・セルール・スメケ（Raquel SERUR SMEKE）前駐エクアドル大使
- ・多国間問題・人権担当次官：エンリケ・オチョア・マルティネス（Enrique OCHOA MARTINEZ）前駐ケニア大使

#### （2）デ・ラ・フエンテ外相の外交方針発言要旨

- ・現在のメキシコにおける政治的変革の延長として、外交政策が同政策の成果を活かすことと同時に、同変革を更に発展させるものとしてできる最善の方法を模索する。
- ・外交政策の優先事項は在外メキシコ人の保護であり、またメキシコ外交団（SEM）の強化、フェミニスト外交の深化、移民に関しては「メキシコのヒューマン・モビリティモデル」を一層改善する。
- ・北米と関係を強化し、ラ米カリブ地域におけるリーダーシップを確立するとともに、欧州、アジア、アフリカ、アラブ地域との関係を革新的な視点から分析し、国際場裡におけるメキシコのプレゼンスを再確認する。
- ・国際平和及び国際安全保障へのメキシコへの変わらぬコミットメント及び開発協力を継続する。

### 2 ガルシア・ルナ元公共治安大臣に対する量刑言い渡し

2019年に麻薬密輸の共謀罪他の容疑で米国当局に拘束・起訴され、客年に有罪評決を受けていたガルシア・ルナ元公共治安大臣に対し、16日、コーガンNYブルックリン連邦裁判所判事は、①6つの薬物関連法違反を含む継続的・組織的犯罪活動への関与、②国際的なコカイン密輸の共謀、③（米国での）コカイン流通及び流通目的での所持の共謀、④コカイン輸入の共謀、並びに⑤虚偽陳述の5件に関し、ガルシア・ルナ元公共治安大臣に466か月（38年8か月）の禁固刑及び200万ドルの罰金を課す量刑を言い渡した。

### 3 デ・ラ・フエンテ外相の北米関係に関する発言

24日、デ・ラ・フエンテ外相は、ミルケン研究所主催のグローバル・インベスターズ・シンポジウムにおいて、北米において、すべての人々、特に社会から疎外されたコミュニティや地域に機会を促進しつつ、包括的で持続可能、且つ共有可能な成長を促進することが不可欠であると述べ、国際的な変化の恩恵を共有し、持続可能なものとするため、USMCAを通じて、北米3か国の橋渡しを継続的に行うよう呼びかけた。同外相は、「メキシコにとって、現在の地政学的・経済的状況は、経済基盤を強化し、海外からの直接投資を呼び込み、製造業、テクノロジー、サービスなどの分野で新たな雇用を創出する好機である」と述べた。

#### 4 ラ米カリブ宇宙機関（ALCE）の設立協定に関する公布令の官報掲載

26日、ラ米カリブ宇宙機関（ALCE）の設立協定に関する公布令が連邦官報に掲載された。本協定は、2021年9月18日、第6回ラ米カリブ諸国共同体（CELAC）首脳会議において署名された。外務省プレスリリースによると、同機関は「ラ米カリブ諸国の技術を活用し、衛星通信システムを改善し、早期警報システムの能力を強化し、自然災害を防止し、農業を改善する能力を高める」もの。

#### 5 シェインバウム大統領のG20サミット出席表明

31日、シェインバウム大統領は、早朝定例記者会見において、G20サミットに参加することを表明した。同会見において、11月18日及び19日に開催されるG20に出席することを決定した、11月19日にメキシコへ戻り、11月20日には革命記念日記念式典及びパレードに出席すると述べた。

(了)